

週刊「中国・アジア」ダイジェスト

2012.06.25-06.29

記事の詳細は、情報検索サービス『キジサク』でご覧になれます

*記事は東京発行・最終版

CHINA

6月25日(月)

フタバ産業、重慶に部品工場
排気・足回系 / スズキから新規受注
フタバ産業は、重慶市に排気系と足回り系部品の工場を建設、2013年12月に稼働。同市にあるスズキの車両工場から新規受注、供給体制を整える。フタバ産業は中国7カ所目の工場。(7面)

船用機関大手・合肥熔安と提携
ディーゼルユナイテッド

ディーゼルユナイテッドは、中国船用機関大手の合肥熔安動力机械、双日マリンアンドエンジニアリングと船用機関で提携。部品相互共有やDUの保守システムを合肥熔安の船用機関に搭載。(8面)

6月26日(火)

日産、大連に新工場
年産15万台 / 中国販売200万台体制

日産自動車は、中国の合弁会社東風汽車が遼寧省大連市に乗用車生産の新工場を建設、2014年稼働。年産能力15万台。将来は同30万台まで拡張する計画。中国での販売を年間200万台に。(5面)

FCC、中国に統括会社
4輪車用クラッチ

エフ・シー・シー(FCC)は、中国での4輪車用クラッチ事業の拡大に向け、全額出資の中国統括会社を9月に設立する。既存の2子会社の管理・統括機



能を集約する。(5面)

パナ、中国でLED照明
北京工場 / EMSも活用

パナソニックは、住宅用LED照明事業で中国市場に参入する。第1弾として7月にシーリングライトやダウンライト



LEDシーリングライト(パナソニック)

など合計18品番を投入。北京工場で生産するほかEMSも活用する。(9面)

富士通テン、中国統括が始動
中国事業でこ入れ

富士通テンは、天津市に設立した中国事業統括の現地法人「富士通(中国)投資」の営業を始めた。4社の現地法人を統括する機能を担い、中国事業をてこ入れする。(5面)

日本ケミコン、中国に開発拠点
現地向け電解コンデンサー

日本ケミコンは、中国に開発拠点を新設した。中国向けの電子機器用アルミ電解コンデンサーなどの製品開発を行う。生産だけでなく、設計開発や材料調達も現地化する。(9面)

瀋陽・成都・深圳に拠点
NTTコム / クラウド拡大

NTTコミュニケーションズは、中国の遼寧省瀋陽市、四川省成都市、広東省深圳市の3都市に事務所を7月1日に開設する。中国はクラウドコンピューティングの利用が拡大している。(11面)

SBI、中国バイオVBに出資
ALLAで合弁設立

SBIグループは、中国バイオVB・蘇州益安生物科技有限公司の出資持ち分の40%を取得。また益安生物が製造するALLAの原体や含有する医薬品・健康食品などの販売合弁会社を設立。(17面)

6月27日(水)

中国の模倣品「手口は巧妙化」
経産省年次報告 / 中国が76%

経済産業省の「模倣品・海賊版対策の相談業務に関する年次報告」によると、中国での被害に関する2011年の相談件数が76%。前年の85%から改善されたが、「むしろ手口は巧妙化」。(2面)



昨年10月に国内向けに発表した新機種(OKIデータ)

宅配伝票プリンターに新興国機
OKIデータ / 20%増

OKIデータは、領収書や宅配伝票の発行などに使うプリンターを拡販する。新興国向けの新機種を投入する。中国や南米のペルー、チリなどで拡販。2012年度には20%増の約48万台に。(9面)

魚を7日間生かして輸出
長崎県 / 中国向け輸送技術開発へ

長崎県は、中国人富裕層への輸出をにらんだ、活魚輸送技術の開発に乗り出した。魚を7日程度生かしたまま輸送できる技術を3年かけて開発する。中国人に人気のクエの輸送研究から。(37面)

6月28日(木)

フォーク、新興国専用機を開発
三菱重工 / 物流用の基本機能に絞る

三菱重工は、新興国向けにエンジン式の新型フォークリフトを開発する。大連工場で生産。物流用の基本機能に絞る。中国、アジア、中近東、中南米向けの戦略製品。(1面)

三菱重工が歯車工作機械展示場
テスト加工も / 常熟工場内

三菱重工は、常熟市の工場内に歯車工作機械のショールームを開設する。現地生産する切削油不要のドライカットホブ盤を中心に展示。精密切削工具や加工サンプルも。テスト加工対応。(7面)

ATM販売、2万5000台に
日立オムロンターミナル

日立オムロンターミナルソリューションズは、済南市に営業拠点を新設。保守

作業員は約80人に増員した。中国での2012年度のATM販売台数を約7000台増の約2万5000台に引き上げる。(10面)

ビルメンテ、瀋陽で開始
中越クリーンサービス

中越クリーンサービスは、瀋陽市でビルメンテナンスサービスを開始する。現地法人を7月設立、ショッピングセンターや大型店舗などの清掃、施設管理業務を手がけていく。(21面)

人民元建て株ファンド新設
新光投信

新光投信は、7月17日に中国本土に上場している人民元建ての株式(中国A株)を実質的な投資対象とする「新光中国A株プラス」を設定する。ファミリーファンド方式を採用。(23面)

6月29日(金)

大型トラック、中国で開発
いすゞ / 現地ニーズに合わせる

いすゞ自動車は、中国で提携先の慶鈴汽車グループと、次世代大型トラックを開発する合弁会社を8月に設立する。大型トラックの世界最大の市場でニーズに合致した新型車を迅速に開発。(5面)

上水道運営事業に参入
日立プラントテクノロジー

日立プラントテクノロジーは、中国の国有上水道事業会社の成都沱源自来水有限责任会社を買収、上水道運営事業に参入した。現地企業のノウハウと日立の水処理技術を融合する。(6面)

ASIA

6月25日(月)

ホンダ、インドでディーゼル
1600cc / 欧州向け

ホンダは、インドで乗用車用ディーゼルエンジンの生産を2014年にも始める。エンジン部品生産のインド子会社第2工場。欧州で13年春投入予定の1600ccの新型エンジンを生産する。(1面)

ローン規制で4輪車下ブレ懸念
インドネシア

インドネシアで15日導入された自動車ローン規制で、現地の4輪車販売の下ブレ懸念。購買者の所得が比較的高く、影響は軽微との見方もあるが、市場の勢いに水を差す可能性がある。(7面)

工作機械、インドネシアで拡販
三菱電機 / 専任担当者を配置

三菱電機は、工作機械のインドネシア向け販売を強化する。シンガポール現地法人に、インドネシア向け工作機械の専任担当者を1人配置した。2014年3月期に倍増の年60台以上を販売。(8面)

細胞加工技術の使用許諾
シンガポール国立大に / メディネット

メディネットは、免疫細胞にがんなどの抗原を導入する細胞加工技術の使用を、シンガポール国立大学に対して許諾する契約。ナチュラルキラー細胞による免疫治療の臨床試験を行う。(11面)

近ツー、台湾現法が営業開始
訪日旅行・海外旅行

近畿日本ツーリストは、台湾の現地法人「台湾近畿国際旅行社」の営業を7月2日に始める。台湾からの訪日旅行と海外旅行の販売を中心とした事業を進める。2014年度に売上高約4億円。(15面)

DTS、ベトナムで業務受託
まづ住宅CADトレース

DTSは、ベトナムをサービス拠点として、日本向け業務受託に参入する。第1弾は、国内協力会社のホーチミンCADセンターと提携。一戸建て住宅の設計図面のトレースの代行業務。(10面)



ベトナムのCADセンター

京浜金属工業が建設するインドネシア工場(完成予想図)



ヤワ州に輸送機器用パネの新工場を建設し、2013年4月に稼働。ホンダなど日系メーカーに2輪車や4輪車用パネを供給する。タイ工場と一体運営。(5面)

HIOKI、台湾に事務所
自動試験装置・電子測定器

HIOKIは、台湾北西部の桃園県蘆竹郷に駐在員事務所を開設した。代理店を通じて台湾で自動試験装置や電子測定器を販売。今後は駐在員事務所を中心に製品開発と販売戦略策定する。(6面)

タイで会計クラウド
日立システムズ / 現地語・税制対応

日立システムズは、タイ・バンコクにあるデータセンターを通じて会計システムを提供するクラウド型サービスを始めた。現地進出の日系企業が言語や税制に苦労していることに対応。(11面)

ソフト開発工程標準化
デジタルプロセス / インド社と

デジタルプロセスは、提携するインドのジョメトリックとソフトウェアのオフショア開発工程を標準化した。技術用語や各工程範囲などの解釈、文書類を統一。インド事業を加速する。(11面)

東レ、インド・ブラジル進出検討
エアバッグ基布 / 装備義務づけ

東レは、インドとブラジルで自動車用エアバッグ基布の事業化調査に着手。2014年に両国で自動車用エアバッグ装備が義務づけられ、需要増が見込めるため現地生産と販売網整備を検討。(12面)

帝人デュボンフィルムが販社
ソウル / サムスン・LG向け

帝人デュボンフィルムは、韓国・ソウ

ル市にフィルム製品の販売会社「ティジンデュボンフィルムコリア」を設立。サムスン電子やLG電子など主要顧客が集まる韓国に設置する。(12面)

インド向け6日短縮
DHL / 積み替えなし

DHLは、インドと日本を結ぶ小口混載輸送サービスを拡充する。日本とチェンナイ、ニューデリーの間を積み替えなしで直接荷物を運ぶサービスを始める。所要時間が最大6日短縮。(15面)

6月27日(水)

日立、インドに調達拠点
火力発電設備 / 為替の影響低減

日立製作所は、インド・ベンガルール市に火力発電設備の現地調達拠点を年内にも設置する。火力発電の新設が相次いで計画されている。部品の現地調達で為替の影響を低減する。(1面)

三菱自、タイ3万台増産
ミラージュなど好調 / 44万台

三菱自動車は、2012年度のタイでの自動車生産台数を従来計画比3万台増の44万台に引き上げる。「ミラージュ」や、ピックアップトラックの販売が好調。(5面)

チノー、タイに現法
工業用温度計 / 現地生産を視野

チノーは、タイに9月までに現地法人を設立し、ASEAN市場を開拓する。日系企業や現地企業向けに工業用温度計や計測システムなどを販売する。将来は現地生産を視野に。(6面)

インドネシアに生産子会社
不二精機 / 車用ブラ部品

不二精機は、インドネシアに生産子会社「不二精機インドネシア」を7月に設立する。2輪・4輪車向けのプラスチック精密成形部品を生産する。2013年6月生産開始の予定。(7面)

湿式シリカで台湾企業と合弁
丸尾カルシウム / タイヤメーカー供給

丸尾カルシウムは、台湾のオリエンタルシリカズと国内に湿式シリカ販売の合

弁会社を設立した。国内のタイヤメーカーなどに販売。タイヤの転がり抵抗をよくするため、ゴムの添加剤に。(11面)

東海東洋アルミ、インド事務所
市場・顧客に密着サービス

東海東洋アルミ販売は、インド・ハリヤナ州グルガオン地区に駐在員事務所を設立、7月16日に業務を開始する。情報発信拠点として機能。市場・顧客に密着したサービスを提供する。(11面)

ミャンマー、決済の整備急ぐ
現金決済が常態化

『東南アジア最後のフロンティア』ミャンマー。金融面では銀行間の決済システムがオンラインでつながっていないため、商取引では現金決済が常態化。決済システム整備は2015年ころ。(21面)

インドネシア大手行と提携
岡崎信金 / 進出を支援

岡崎信用金庫は、取引先企業の海外進出を支援する一環として、インドネシア大手商業銀行のバンク・インターナショナル・インドネシアと業務提携した。同国での提携は2件目。(21面)

6月28日(木)

台湾製の工作機械を投入
ユアアイテックニカ / 低価格前面に

ユアアイテックニカは、台湾メーカー製の工作機械販売事業に乗り出す。子会社を設立、MCとNC旋盤を投入する。日本メーカー製に比べて3~5割低価格。自動車や機械部品に照準。(8面)

井関農機、インドネシアに合併
トラクターなど / 年産1万台

井関農機は、インドネシアに農業機械を製造・販売する合弁会社9月をめどに設立する。トラクターなどを年1万台生産する工場を2014年1月稼働。東ジャワ州PIER工業団地内。(8面)

ダイヘン、インドネシア販社
溶接機・溶接ロボ / 展示スペースも

ダイヘンは、インドネシア・ジャカルタ近郊で、溶接機と溶接ロボットの販売子会社を8月に設立する。実機展示スベ

今回は - 9日(月)は新聞休刊日ですので、「中国・アジア ダイジェスト」面の今回は16日(月)に掲載します

ースを設置、溶接デモや溶接試験を行うFAセンターとする。(8面)

6月29日(金)

森精機、インド・ブラジル新工場
ギルデとの協業

森精機製作所は、資本・業務提携する独ギルデマイスターと生産協業を行う一環で、3年以内にインドとブラジルに生産拠点を設ける。森精機社長は「2015年までに開発・販売は完全に統一」。(1面)

日立ツール、タイで再研磨
ドリル / 車部品加工用

日立ツールは、タイで、自動車部品加工などに用いるドリルの再研磨サービスを7月中旬に始める。顧客は新品のドリルを購入する際にメーカーの再研磨対応を重視する傾向にある。(1面)

東洋ゴム、タイで防振ゴム
日系メーカー中心

東洋ゴム工業は、タイのO.A.機器部品製造販売子会社で自動車用防振ゴムの販売を11月始める。日系メーカーを中心に海外メーカーへも。鬼怒川ゴム工業のタイ子会社からOEM調達。(5面)

アスカ、車体プレス部品新工場
インドネシア / 日系向け

アスカは、インドネシア・カラウン県に車体プレス部品の工場を建設し、2013年12月に稼働する。日系自動車メーカーに納入する。単独で進出する海外工場は初めて。(5面)

明和証券、東南ア株を取り次ぎ
インドネシアなど / 外国債券も拡充

明和証券は、インドネシアなど東南アジア株の取り次ぎを2013年初めにも始める。外国株のほか、外国債券の取り扱いも拡充。今年の8月にはトルコ国債の取り扱いを始める。(23面)

企業 チャネル

固有の技術と製品が存在する日本ものづくり企業。各社各種の知恵と工夫に富んだ企業の中から、貴社にとって選りすぐりの企業が見つかります。

特集 チャネル

ものづくりを取り巻くさまざまな切り口でお役立ちコンテンツを掲載。話題のイベントや業界界などにスポットを当てた企画、ビジネスの動きが読み取れます。

読み物 チャネル

インタビュー、レポート、コラム...ものづくりに関する最新の視点と、課題を語るタチを掲載。読後記も読者の1回読み切り記事のなかには、発見をひらくものヒントが隠れています。

教育イベント チャネル

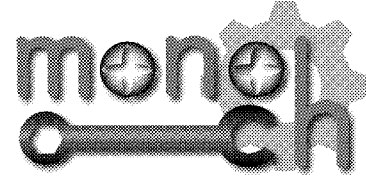
ものづくりに関する全国各地のイベント・セミナー情報を掲載。興味イベントを含む情報入手を通じて、貴社の情報感度とネットワークを高めます。

専門・技術 チャネル

ものづくりを支える多様な技術と専門技術を幅広く紹介。業界や製品に特化したポイント解説で、貴社のインテリジェンスが深まります。

地域 チャネル

全国各地のものづくり企業を地域単位で紹介。地場産業など、その地域ならではの個性派企業が見つかります。



ものづくりビジネスに関するお役立ちコンテンツを集めた
日刊工業新聞社が運営する情報サイトです。



ものづくりチャネル



日刊工業新聞社

電子メディア事業室

〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町14-1

TEL. 03-5644-7090

http://mono-ch.nikkan.co.jp/m/

mono-ch@nikkan.co.jp